



No.154

# こが 議会だより



おじろ りん  
尾白 琳音さん



わたなべ るい  
渡辺 琉衣さん



そめや さき  
染谷 咲妃さん

- 令和元年第4回定例会
- 常任委員会
- ここが聞きたい一般質問
- 中学生議会
- 議会トピックス・議会の動き

今回の表紙を飾るのは認定こども園  
五霞幼稚園・保育園の園児の皆さんです。



「議会だより」を  
スマートフォンな  
どで見ることがで  
きます。

# 令和元年第4回定例会(12月)

## 太陽光発電設備の適正な設置に関する条例など16議案を可決

令和元年第4回定例会が12月4日から11日までの8日間の会期で開催されました。

本定例会では、令和元年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、五霞町太陽光発電設備の適正な設置に関する条例の制定等16件の議案が提出されました。

これに伴い、総務文教委員会、経済建設委員会が開催され、関連議案の審議をしました。

定例会最終日に議案の採決が行われ、全議案が原案のとおり可決されました。

また、町政全般にわたり4名の議員が一般質問をしました。



令和元年第4回定例会で可決した議案は下記のとおり。

議案第65号 ⑤	<b>五霞町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例</b> 成年被後見人等の権利に係る制限が設けられている制度の見直しに伴う条例の一部改正
議案第66号 ⑤	<b>五霞町一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例</b> 茨城県最低賃金の引き上げに伴う条例の一部改正 日給 6,500円 → 6,600円
議案第67号 ⑤	<b>五霞町会計年度任用職員の給与、費用弁償、勤務条件等に関する条例</b> 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い会計年度任用職員制度が創設されることに伴う条例の制定
議案第68号 ⑤	<b>地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例</b> 会計年度任期職員制度が創設されることに伴い改正が必要となる関係条例を一括改正するための条例を制定
議案第69号 ⑤	<b>五霞町印鑑登録及び証明に関する条例</b> 国が定める印鑑登録証明事務処理要領の一部改正に伴う条例の全部改正 (住民票やマイナンバーカードへの旧氏の記載を可能とするとともに、旧氏を使用した印鑑登録を可能とするもの)
議案第70号 ⑤	<b>五霞町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例</b> 幼児教育・保育無償化に伴う上位法等の改正による条例の一部改正

議案第71号 ⑧	<b>五霞町太陽光発電設備の適正な設置に関する条例</b> 生活環境の保全を図り、町民の安全と安心を確保するため太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理に関し、計画段階から町が事業者と設計内容や災害時及び事業廃止後の撤去・処分に関する協議を行えるよう条例を制定
議案第72号 ⑧	<b>五霞町水道事業給水条例の一部を改正する条例</b> 水道法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第73号	<b>工事請負契約の変更について（五霞町B &amp; G海洋センター改修工事）</b> 外壁のひび割れ等の補修箇所数が増加したことに伴う請負金額の変更 変更前 9,425万1,600円（税込） 変更後 1億122万2,000円（税込）
議案第74号 ⑧⑨	<b>令和元年度五霞町一般会計補正予算（第4号）</b> 歳入歳出それぞれ5,491万9千円を追加補正 （歳入）財源調整による財政調整基金繰入金の追加 5,042万5千円 （歳出）ふるさと寄附金業務委託料の追加 753万円 など
議案第75号 ⑧	<b>令和元年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）</b> 歳入歳出それぞれ6,000万円を追加補正 （歳入）普通交付金の追加 6,000万円 （歳出）一般被保険者療養給付費の追加 6,000万円
議案第76号 ⑧	<b>令和元年度五霞町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）</b> 歳入歳出それぞれ447万3千円を追加補正 （歳入）医療給付費繰入金の追加 447万3千円 （歳出）後期高齢者医療療養給付費負担金の追加 447万3千円 など
議案第77号 ⑧	<b>令和元年度五霞町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）</b> 歳入歳出それぞれ1,083万6千円を追加補正 （歳入）介護給付費交付金支払基金交付金の追加 271万6千円 （歳出）介護予防サービス給付費の追加 470万円 など
議案第78号 ⑧	<b>令和元年度五霞町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）</b> 歳入歳出それぞれ2,692万5千円を追加補正 （歳入）社会資本整備総合交付金の追加 1,214万6千円 （歳出）環境浄化センター耐震補強工事請負費の追加 1,980万円 など
議案第79号 ⑧	<b>令和元年度五霞町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）</b> 歳入歳出それぞれ1,910万円を追加補正 （歳入）一般会計繰入金の追加 1,310万円 （歳出）南部水処理センター汚水制御盤更新工事請負費の追加 1,050万円 など
議案第80号 ⑧	<b>令和元年度五霞町水道事業会計補正予算（第2号）</b> （収益的収入及び支出）収入 10万円を追加補正 支出 10万円の追加補正 （資本的収入及び支出）支出 9万円の追加 など

⑧=総務文教委員会付託 ⑨=経済建設委員会付託

# 常任委員会

## Q & A

**Q** フルタイム会計年度任用職員とは。

**A** 令和2年4月から一般職非常勤職員等が全国的に統一された制度に基づく任用形態へ移行します。常勤職員と同様にフルタイムで勤務する方がフルタイム会計年度任用職員、短時間勤務の方をパートタイム会計年度任用職員といいます。

**Q** 現在雇用している一般職非常勤職員等の人数とその内訳は。

**A** 一般職非常勤職員が30名、臨時職員・嘱託職員が12名、合計42名です。

**Q** 各種協議会や委員会の委員報酬の日額が、低いものでは6,400円、高いものでは15,000円となっているが、開催する時間の関係上の違いなのか。

**A** 審議内容により弁護士や臨床心理士など専門の方が委員になる委員会もあるため違うものです。

**Q** 印鑑登録を受けることができない者として、15歳未満の者とあるが、15歳以上の未成年の方が印鑑登録をするにあたって、保護者の同意は必要なのか。

**A** 保護者の同意がなくても印鑑登録はできます。

**Q** 五霞町太陽光発電設備の適正な設置に関する条例で、

事業者は設置事業に着手する日の60日前までに、規則で定める事項を届け出て、町長と協議しなければならないとあるが、60日という日数は町で設定したのか。

**A** 関係法令の調整等、期間を要しますので町で設定いたしました。

**Q** 五霞町太陽光発電設備の適正な設置に関する条例の施行は令和2年4月1日からであるが、施行までの期間に申請の駆け込み等があるかと思う。茨城県のガイドラインも踏まえて、町の方で確認、周知等を行っていただきたいと考えるが。

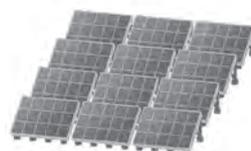
**A** 国のシステムにより申請、認定状況の確認をしており、9月以降に町内で認定された件数は5件、申請中は5件です。周知期間は3ヶ月間を設け、すでに認定を受けているものについては、電話連絡にて周知を行っていく予定です。

**Q** 太陽光発電設備の設置申請が通った後、工事完了までの期日は設けているのか。

**A** 事業者の計画に基づいて行っていただきますので、期日は設けていません。

**Q** 現在の太陽光発電設備の認定状況及びその場所は。

**A** 認定されている5件のうち、屋根設置型が1件、場所は大福田です。地上設置型が4件で幸主が1件、川妻が3件です。いずれも50KW未満の発電施設です。



**Q** マイナンバーカード支援業務委託として150万円の追加補正をするということであるが、当町のマイナンバーカード交付状況はかなり進んでいると思っているが。

**A** 国において、さらに交付率を高めるため、マイナンバーカードを使ったポイント還元事業を展開する予定となっており、そのための委託料の追加です。

**Q** 道の駅直売所の動線確保を図る商品陳列棚の購入費として91万6千円を追加計上しているが、動線確保等の改善に向けた努力や備品の購入については、委託されている農協の方で用意等をしていくことが必要であると思うが。

**A** 役場、五霞まちづくり交流センター、農協の直売所職員での話し合いにより、試験的に新たな陳列棚を導入してみて、それが有効であれば今後、農協での導入をベースに購入を考えていく予定です。



**Q** 南部水処理センター汚水制御盤の不具合による更新工事で、1,050万円の追加補正ということであるが、制御盤の耐用年数は。また、町として今までに故障や老朽化した場合の対応はなかったのか。

**A** 耐用年数は5年～10年ですが、当該制御盤は19年を経過しています。これまでは、代用品があれば交換し、修理等に対応してきましたが、代用品等の生産が終了したことに伴い、更新するものです。

小野寺 宗一郎 議員



**問** 消防団の支援について

**答** どの地域にあっても同等の待遇、安全確保、  
 装備の充実を図っていききたい

消防組織の充実は地域の消防  
 防災体制の要として必要不可欠  
 といえるが。

**問** 団員の勧誘・確保について  
 の取り組みは。

**生活安全課長** 消防団員の確保  
 については、町、消防団、行政  
 区が一体となり定員を維持して  
 います。新団員の推薦につきま  
 しては、区長会議で依頼し各分  
 団ごとの協力により推薦をいた  
 だいています。

**問** 道路交通法の改正に伴い、  
 現在の普通免許証では消防車を  
 運転することはできなくなっ  
 ているが、その対応は。

**生活安全課長** 平成29年3月  
 以降に免許を取得した団員が増  
 加するまでの当分の間は、運転  
 できる団員での対応をお願いし  
 たいと考えています。

**問** 台風19号による消防団の  
 対応は。

**町長** 初めての避難勧告となり、  
 いろいろな課題、教訓もいただ  
 きました。非常に団員も不安で

あったのではなかろうかと思  
 いますので、今後もこれらの教育、  
 訓練を充実していきたいと思  
 います。



消防春季点検式の様子

**問** 東西小学校の統廃合について

**答** 令和2年度末までに町としての方向性を決定する予定

効率的な教育環境とあわせ魅  
 力あるものにするために、教育  
 拠点を集中的に形成することが  
 肝要であると考えられるが。

化に伴い年々減少をしています。  
 また、どちらの校舎も完成から  
 約50年を迎え経年の劣化が進  
 んでいる状況です。

**教育長** 子どもたちにとって、  
 どのような教育環境がよいのか、  
 五霞町立学校のあり方検討会  
 での検討のほか、総合教育会議  
 において協議し方向性を決めて  
 いく予定です。

**問** 東西小学校の現状は。

**教育次長** 児童数は近年の少子

**問** 統合に向けた方向性につ  
 いては。

	児童数	教員数	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
五霞東小学校	213人	23人	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	2クラス
五霞西小学校	132人	22人	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス

東西小学校の現状 令和元年12月1日現在



## 問 農業の振興の現状と特産品の推移及び農業委員会の調査結果は

### 答 遊休農地は減少、農業委員会の調査結果 7割の農家が現状維持との回答あり

農業従事者の高齢化や農業就業者の減少により、耕作放棄地や遊休農地等が課題と考えるが。

**問** 農業振興において、農地の状況は。

**産業課長** 農地パトロールの結果、遊休農地は、平成29年度が6.6ha、令和元年度が5.7haと9,384㎡減となり、約1ha減少しました。この要因は、平成28年4月に農業委員会法が改正され、今までの農地法に基づく権利移動の許可等に加えて、必須業務となった担い手への農地の利用集積や集約化の促進、遊休農地の発生防止並びに解消、就農への新規参入の促進等に取り組んだ成果であると思われます。遊休農地や草が繁茂している農地の所有者には、適切な管理について指導を通知しています。

**問** 農業委員会のアンケート結果は。

**産業課長** 町内外の農地所有者より82.9%の回答率があり、74%の農家が耕作しています。今後の活用についても71%の農家が自作、賃貸借を含め引き続きこのままとの回答がありました。

**問** 特産品の八つ頭、そば焼酎「川霞」の進捗状況は。

**産業課長** 五霞町産の八つ頭を加工・販売するものを商工会が平成30年度に「五霞いも」としてロゴマーク等の商標登録を取得するとともに、同年7月に関東ブロック商工会女性部交流研修会主張大会において八つ頭コロケづくりを題材にした発表が最優秀賞を受賞し、全国大会にも出場され、全国にPRしました。そば焼酎「川霞」は今までに約10,000本、プレミア

ムが1,000本製造され、販売されています。

**町長** 現在は八つ頭コロケが中心ですが、町のふれあい祭り「五霞いもフェス」に7点ほど八つ頭を使ったレシピが出店されました。大変おいしく、今後、道の駅で活かしていけたら良いなと思いました。また、町の農業の今後ですが、減反政策が転換され、米作りの省力化が必要とされるなか、生産意欲ある農家は、県のモデルになるような形態を取り入れ、今後はドローンでの直播もやっていくということで、県内でも先進的な農業に取り組んでいます。課題は、土地の集約・集積化をしていくための基盤整備です。畦畔を取り除き基盤を広くするために、土地改良区と連携しながら進めていければと考えています。



無人ヘリによる直播風景



## 問 高齢者支援について

### 答 地域で支援する仕組みづくりを進めていく

町の人口が減り続ける一方、高齢者の割合が急増し家族や世代間の格差が広がり地域も大きく変貌を遂げている。町の高齢者福祉計画の基本計画は「地域で支え合う健康で安心して生活できる」であるが。

**問** 高齢者ドライバーが運転免許証を自主返納した後の交通手段の確保として75歳以上の方へ「ごかりん号」年間無料パスを配布しては。

**生活安全課長** 高齢者交通弱者の移動手段の確保は喫緊の課題となっています。無料パス券の導入は、住民のニーズ・利用度等を踏まえ、コミュニティ交通運営協議会や公共交通会議において有識者の意見を取り入れながら検討していきたいと考えています。

**問** 介護いらずで元気に暮らせる「健康寿命」を延ばす取り組みは。

**健康福祉課長** 令和元年10月1日現在、町の高齢化率は33.3%です。茨城県の健康寿命は男性72.5歳、女性75.5歳で平均寿命と差があるため、国ではフレイル対策を推進しています。フレイル対策とは年齢と共に心身の活力が低下し脆弱性が出現した状態にならないようにする対策のことです。町では心身の状況を判定するため、25項目の質問からなる基本チェックリストを70歳以上の方全員に送付する介護予防把握事業を実施しています。

**町長** 多くの支え合い組織をしっかり育成しながら高齢者支援に取り組んでいきたい。



## 問 空き家・空き地の利活用について

### 答 地域資源として有効に利活用できるよう検討を進める

人口減少時代に土地利用のニーズの低下により空き家・空き地の多いことは自治体にとっても税収面、維持の面で課題が多いが。

**問** 所有者への指導は。

**生活安全課長** 空き家などを放置することによる周囲への影響や問題点、適正管理を行うことの重要性について迅速に指導対応していきたいと思います。

**問** 今後の空き家・空き地利活用の方向性は。

**町長** 町、町民、事業者等が相互に連携を図るとともに定住化・地域活性化に向けた利活用に取り組んでいきたいと考えています。





## 問 町の水道経営改善の糸口は

答 国や県と協議して広域化・共同化を進めることにある

2025年南摩ダムが完成し安定水利権を得ると、1日最大給水量現状11,500m<sup>3</sup>（埼玉県水受水分3,400m<sup>3</sup>+安定水利権分8,100m<sup>3</sup>→計画1日平均給水量9,890m<sup>3</sup>→年間総配水量約360万m<sup>3</sup>）となるが、今後の水需要計画はどのように捉えているのか。

問 水需要の動向は。

上下水道課長 食品会社製造ライン増設に伴い令和4年度に年間15万4千m<sup>3</sup>増を見込んでいます。圏央道IC周辺開発地か

ら日量500m<sup>3</sup>の要望もあり、数年以内に年間総配水量が170万m<sup>3</sup>以上になると見込んでいます。

問 南摩ダム事業費負担（予定17億円）の財源及び町財政負担は。また、対策案は。

政策財務課長 財源は、水道事業会計の収入として企業債借入及び一般会計からの出資金を充てます。なお、財政負担は企業債の借入による公債費比率増と一般会計から水道事業会計への繰り出し増による全体事業への影響が後年度にわたり及ぶもの

と予測されます。対策としては、全体事業を含め優先順位を決めるとともに歳出の平準化を行い持続可能な形にしていくことにあります。

問 今後の方向性は。

町長 水道の他、公共下水、農業集落排水も一般会計から補填する厳しい経営状況にありますが、施設の老朽化対策を行いながら、県を越えた広域化・共同化を含めて、取り組んでまいりたいと考えています。

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	1,444,000	1,543,000	1,561,000	1,583,000	1,546,000
給水人口 (人)	8,796	8,635	8,552	8,396	8,279
※1日最大給水量 (m <sup>3</sup> )	5,162	5,657	5,425	6,361	5,762

備考：※1年を通じ、1日で、最も多く使用した日の給水量

## 問 町民のウォーキング普及促進は

答 気軽にできて、健康と町活性化につながる事業を計画していきたい

茨城国体で町はウォーキングを開催、多くの参加者（総勢1,073名）を得た大会となったが、この機運を町活性化につなげてはと考えるが。

問 普及に際し問題点は。

教育次長 公衆トイレ不足と一般道の安全面の懸念があります。他の大会、趣向を参考に既存施

設、県指定のヘルスロードを最大限に利用する等で対応したいと考えています。

教育長 花見ウオーク開催等、国体だけでウォーキングを終わらせることなく、その経験と知識を生かして、体協、歩楽里会、スポーツ推進委員・協力員の協力を得ながら普及に取り組んでまいりたいと考えています。



# 中学生議会が開催されました

11月12日、役場本会議場において、五霞中学校1・2年生による令和元年度五霞町中学生議会を開催しました。

中学生議会は、町議会並びに町執行部が次代を担う中学生の率直な意見・要望を聴取し、今後の町政に反映させ、将来も住み続けてもらえるような魅力や夢のあるまちづくりをするために開催したものです。

中学生議員は、各クラスの代表12人で、そのうち6人が町に対して事前にクラスの中で協議した意見や要望などを質問し、その質問に対して町長や関係課長等が答弁しました（※要約した答弁は10・11ページ参照。）



五霞町中学生議会議員名簿

議席番号等	氏名	学年・学級
議長		
副議長		
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

## 質問事項

### 五霞町の人口減少に対する対策と高齢者福祉施設の充実について

**問** 町は人口減少が続いていますが、農地の多い五霞町で農業体験の機会を計画し、他県民にPRしたり、転入費用の支援制度などを整え、それをきっかけに移住を考えてもらうのはどうでしょうか。また、高齢者の増加に伴い、より高齢者が過ごしやすい環境を整備することもよいと思いますが、町の対策についてお聞かせください。

**政策財務課長** 町の人口減少対策として、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、町を知ってもらう、訪れてもらう、

住んでもらうことを柱に取り組んでいます。今後、農業体験や定住支援制度なども検討したいと思います。

**健康福祉課長** シルバーリハビリ体操教室等へ行きたくても移動する手段がなく行けないという高齢者のため、指導員の派遣など、出向くということも検討していきたいと思います。

**町長** 第6次総合計画の策定に伴い実施した中学生アンケートで寄せられた意見を一つでも多く実現できるよう努めていきます。



## 質問事項

### 災害に強いまちづくりと災害発生時の避難所運営策について



**問** 川に囲まれている五霞町では、万が一の浸水に備えたまちづくりについて、区画整理や都市計画をどのように考えていますか。また、避難所を少しでも過越しやすくするため、エアコンや自家発電装置の整備など、早急に対策をお願いしたいと思います。

**生活安全課長** 町内の基盤整備を行うことによって、河川の氾濫時に浸水しないということは現実的に難しく、まずは、河川が氾濫しにくい強化堤防の早期完成を国に要望していきます。また、避難訓

練のあり方について、足の不自由な方やお年寄りの避難方法などを含め検討していく必要があると考えています。

**町長** 台風19号の後、避難所開設時の対応について役場内で検証会議を開催し、いろいろな意見や提案、課題が出ました。これらを踏まえ、災害は毎年起きるかもしれないという予測の中で、優先順位の高いものから予算を確保し対処していきたいと考えています。

## 質問事項

### 町の交通安全対策と防犯対策について

**問** 安心して自転車走行ができるよう交通量の多い道路に自転車専用通行帯を設定したり、街灯を設置できないでしょうか。また、防犯カメラの設置状況は。さらに、何十年も放置された空き家は、防犯上はもちろん、自然災害などで崩れたり物が飛んだりしないか心配です。今後の解決に向けた対策をお聞かせください。

**都市建設課長** 県道は、街灯も含めた歩道の整備や自転車専用通行帯の整備について県に強く要望していきます。また、通学路には、歩行者が安全に通行できる

ようグリーンベルトの整備を進めていきます。

**生活安全課長** 防犯カメラは、幼稚園・学校付近、交通要所などへ20台を設置しています。今後も警察等と協議し、増設していく考えです。空き家については、五霞町空家等対策計画に基づき、空き家とならないための予防、空き家となった場合の適正管理と利活用、管理不全な空き家の解消に取組み、住環境の向上と安心・安全なまちづくりを目指します。



## 質問事項

### 図書館機能の充実と公園などのスポーツ施設の建設計画について

**問** 中央公民館の図書室に中学生や高校生が静かに勉強できる明るい空間や調べごとでいつでも利用できるパソコンが十分整備されれば、もっと利用者は増えるはずです。また、国体ウォーキングでスポーツや運動への町民の関心が高まり、幅広い年齢層が利用できる公園・スポーツ施設を設備するチャンスだと思いますが、町の対策をお聞かせください。

**教育次長** 図書室のパソコンについては、インターネット利用環境の整備を優先して検討し、自主的・自発的な学習活動の

場として多くの方に利用していただけるよう努めていきます。また、町のスポーツ拠点として、4月にB&G海洋センターがリニューアルオープンします。

**教育長** 2月から茨城県立図書館の本を町の図書室に取り寄せるサービスを導入しますので、より多くの図書に触れられるようになります。町としても、今後とも生涯学習の場を充実していきたいと思っています。



## 質問事項

### 農業後継者の育成についての具体的な施策と新たな五霞町特産物による産業の活性化策について



**問** 農業については、全国で後継者不足の問題が取り上げられています。国道や高速道路、道の駅など町が活性化していく一方で、これから先、五霞町の農業がどうなっていくのか心配です。町の農業を活性化するために、新しい特産物を生産し、PRしていくことができれば、五霞町の農業も更に活性化するのではないかと考えますが、町の対策をお聞きしたいと思います。

**産業課長** 町では、農業後継者育成のため、野菜づくりを実体験しながら農業の

基礎を実習する「農業塾」を開催し、延べ132名が受講されました。今後も農業が魅力ある仕事であることを発信し、農業後継者の確保に努めたいと考えています。また、新たな特産物による産業活性化策については、八つ頭を使ったアイデア料理を道の駅のレストランで提供するなど、町の特産品として展開していきたいと思っています。

## 質問事項

### 町のイメージアップを図るための広報・PR計画とごみ問題について

**問** 五霞町の良さを町外へ発信し、更なるイメージアップを図ることが町の諸課題の解決に必ずプラスになると考えます。五霞町のことを多くの皆さんに知ってもらいたいと願っています。その一方で、新4号国道側道付近で目にするごみが町のイメージダウンになるのではないかと心配です。町の対策をお聞かせください。

**総務課長** 町では、広報紙、ホームページ、ツイッターやフェイスブックなどのSNS、動画により広報・PRを行っています。これからも、多くの人に魅力を

知ってもらえるようタイムリーに情報を発信してまいります。

**生活安全課長** ごみのポイ捨て禁止とマナー意識の向上を図るため、五霞町ポイ捨て等防止条例を制定しました。看板の設置や広報紙・ホームページによりポイ捨て禁止を啓発し、ごみが捨てられない環境づくりに努めていきます。また、国道側道の清掃については、道路管理者である国土交通省と調整していきます。



## ● 議会トピックス ●

### 行政視察の受入れ

11月18日、鴻巣市議会・北本市議会・行田市議会上尾道路建設促進議員連盟の議員32名と事務局・随行者7名が五霞町に周辺地区土地区画整理事業の視察のため来町されました。

ふれあいセンターにおいて、都市建設課の担当職員及び業務代行者から事業概要をはじめ、これまでの経緯、今後の課題等について説明を行い、質疑応答では熱心な質問が出ていました。その後、現地を視察していただきました。



### 全国町村議会議長会永年功労者表彰

昨年11月に開催された全国町村議会議長会創立70周年記念式典において、元町議会議員の青木武明氏に対し、永年にわたる地方自治の振興及び住民福祉の向上に寄与された功績が顕著であるとして永年功労者表彰の授与がありました。

これに伴い、1月10日の五霞町賀詞交歓会において、青木氏に鈴木議長から表彰状の伝達を行いました。

青木氏は、昭和62年4月に初当選以来、平成31年4月までの8期32年の永きにわたり在職され、町議会議長をはじめ茨城県町村議会議長会長を務めるなど様々な要職を歴任されました。



左：青木武明氏 右：鈴木議長

## 議会の動き（12月～2月）

12月4日	第4回定例会初日	1月10日	広報編集特別委員会	2月14日	広報編集特別委員会
12月5日	総務文教委員会	1月22日	議会全員協議会	2月20日	町村議会議員自治研究会
12月6日	経済建設委員会	1月31日	広報編集特別委員会		会
12月9日	一般質問	2月12日	経済建設委員会と農業生産者団体代表との意見交歓会	2月21日	議会運営委員会
12月11日	第4回定例会最終日			"	議会全員協議会
12月20日	議会全員協議会				

**次回定例会**

3/4(水)～3/17(火) 予定

**傍聴してみませんか？**

議場で開催される本会議は公開しています。  
簡単な手続きで、どなたでも傍聴することができます。

一般質問は **3/13(金)・3/16(月)** 予定しています。

※詳しくは、議会事務局又は町公式ホームページでご確認ください。

### 広報編集特別委員会

委員長	植竹美智雄
副委員長	黛文夫
委員	鈴木喜一郎
	新井庫秀
	山本芳秀
	小野寺宗一郎